

# 仕分け「不要」計4件

## 砂防、唯一の「現行通り」

「信州型事業仕分け」の算に仕分け結果がどうも2日目が16日、県松本合同庁舎で行われた。この日は13事業計14件を仕分け、新たに2件が「不要」とされた。2日間では、不要4、民間委託1、国・広域1、市町村1、要改善21、現行通りとなり、2011年度予算

「ご当地料理発信」(観光振興課)。黒部ダムカレールや山賊焼などを県内イベントでPRする事業だが、仕分け人からは「県内イベント

事業名	事業内容	判定
信州「食」の魅力向上	ご当地料理発信 県内食料使用メニューをPR	不要 要改善
信州農産物マーケティング戦略推進	農産物の海外販路開拓など	要改善
環境にやさしい農業総合対策	エコファーマーの認定など	要改善
地域森林計画樹立	空中写真測量や森林計画図修正	要改善
県デジタルアーカイブ推進	絵地図や書籍をデジタル化し、ネット配信	要改善
生涯学習情報提供システム	サイト「信州らんらんネット」で学習情報提供	不要
技術専門校職業訓練	新規高卒者らへの職業訓練	要改善
ジョブカフェ信州運営	ハローワークなどとの就職情報提供	要改善
運輸事業振興助成補助	県トラック協会、県バス協会への補助	要改善
道路愛護活動促進	ボランティアによる道路美化活動を普及	要改善
河川愛護・アダプトプログラム	地域団体による河川清掃美化活動支援	要改善
砂防(公共)	砂防ダムなどの整備	現行通り
県営住宅管理	住宅修繕、入居者募集など	要改善

C班(観光・農政・教育)

D班(商工労働・企画・建設)

16日の仕分け結果

16日の仕分け人(敬称略)◆印は民間政策研究機関「構想日本」からの派遣

C班◆伊藤伸(構想日本政策担当ディレクター/内閣府行政刷新会議事務局参事官)、◆山内敬(黒壁執行役員/元高島市副市長)、◆信夫隆生(内閣府行政刷新会議事務局企画官)、武居博明(県民委員)、宇原宣雄(県民委員)、扇田孝之(コミュニケーション・デザイン研究所代表取締役)、伊藤清人(県農業経営者協会会長)、香山由人(山仕事創造舎代表理事)、熊谷浩平(下條村副村長)

D班◆荒井英明(神奈川県厚木市子ども育成課長)、◆百瀬治彦(山梨県総合県税事務所)、◆岡本直之(内閣官房行政改革推進室内閣参事官)、森田勝(県民委員)、西沢正樹(県民委員)、半谷雅典(前田鉄工所社長)、宮島晴樹(県建設労働組合連合会書記長)、坪田明男(松本市副市長)

事後チェックが大切  
「なぜ」「どうして」と執拗に問う仕分け人と、それに答えようとする県職員の様子。やりとりは新鮮に思える。

などとされ、「不要」に。司会役の仕分け人は、新年度予算に入れるべきではないとまで踏み込んだが、終了後、別の担当職員は「熱意の有る無しは、仕分け人の主観」と話した。

2日間で唯一、「現行通り」とされたのが「砂防」(砂防課)。県側は、5分の説明時間を10分に拡大してもらい、土石流の映像を流したり、砂防ダムが被害を防いだ事例をボードで紹介したりと準備を整えた。全員一致で現行通りとされた。

### 知事「仕分けは75点」

阿部知事は終了後、「信州型事業仕分けの第一歩を実現でき、県民に約束してきたことの1つが果たされた」と感想を述べ、「予算を含めて結果をどう反映させるかまた途中段階」としながら、今回の仕分けを「75点」と評価した。「不要」とされた事業については「議論を尊重し、検証した

た。疑問に感じる判定もあったが、毎年、新規事業を報道している我々も、事後チェックの大切さを再認識する機会になった。(香取直武)

上で方向性を決めていく」とした。

2日間で46人傍聴

16日は初日より34人多い225人が傍聴し、2日間

の傍聴は計416人だった。砂防事業の仕分けに興味があったという岡谷市湊、無職滝沢一博さん(75)は「時間が足りず、表面的な議論になってしまっているところもあった」と指摘。塩尻市の農業男性(79)は「こんな無駄なことをやっていたのかと驚くことがあった。県の仕事は、なんとなくでも分かっていたよ」と話した。